



# 第 60 回 全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会

2022 年 6 月 4 日(土) 埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷南側

主催：日本学生自転車競技連盟 共催：(公財)日本自転車競技連盟 (一社)埼玉県自転車競技連盟  
協賛：(公社)全国競輪施行者協議会 (一社)日本競輪選手会 井上ゴム工業株式会社  
株式会社パールイズミ WIN AND WIN CO.,LTD(WIAWIS) 株式会社クレマー・ジャパン  
セイコータイムクリエーション株式会社  
後援：国土交通省利根川上流河川事務所 加須市 加須市教育委員会 羽生市 羽生市教育委員会



Communiqué.02-1

2022 年 6 月 2 日

チーフコミッサー 倉田 達樹

## 1. オートバイからの機材補給について

- 前年チーム・ロードの上位 8 チームは随行審判オートバイにスペア前後輪 1 ペアを積むことができる。
- 搭載を希望する該当チームは 11 時までにはスタート地点に持参のこと。
- レース中に車輪交換を希望する場合、選手は手を上げて随行審判オートバイに知らせた上で道路左路肩に完全に停止すること。ホイールキャリアからの車輪の取り出し・取り付けは審判員が行うが、交換は自らの責任において行うこと。
- 各校で準備したディスクブレーキ車輪用のアタッチメントを取り付けたホイールの搭載も受け付けるが、そのアタッチメント類を用いた固定状態については各校で責任を持って確認すること。またこの場合も、自転車への車輪交換や工具対応は選手が自らの責任において行うこと。

## 2. レース中の車両走行について

- 道路幅員が狭い為、四輪車は原則走行出来ない。(救護車等が走る場合があります)
- チームカーの伴走は出来ない。
- 違反行為の観察はモータバイク審判員が適宜走行して行う。

## 3. チームピット (飲食料・器材サポートエリア) ならびに補給

- 下流側折返し地点近傍コース南側、下流側よりスタート順に従い各チームのテント設置を認める。
- チームピットエリアの幅は 1 チームあたり 4 m 以内とする。
- 荷物の積み下ろし時には、車両をチームピットに乗り入れて行うこと。コース上に駐停車することは厳に禁ずる。
- 荷物の積み下ろしが終わったら、速やかに車両を指定の駐車場に移動すること。
- レース中にピットエリアに駐車することは認められない。
- 閉会式・表彰式開催中のピット撤収のための車の移動は認めない。
- チームピットエリアにテントを設営する場合、地面を痛めるペグ等の使用は認められない。
- このチームピットエリアと下記の共用補給エリアにおいてのみ、毎週回飲食料の補給を認める。
- 最も下流側・折返地点直近は共用補給エリアとし、折返しで通過中のチームの ID カード所持者 (各チーム 4 枚迄) のみ立入可とする。
- 競技中の選手は、共用補給エリアおよびチームに指定された飲食料・器材サポートエリア内においてチームメイトに拾われることを前提とする場合のみ、ボトル、食料、包装紙等を道路上に静かに落とすことができる。それ以外でのポイ捨ては厳禁とする。
- 地上に落とされたものは他校選手分も回収に協力されたい。
- 上記事項に違反するボトル、食料、包装紙などの廃棄には、3000 円/件のペナルティを科すものとする。
- 補給および空ボトル等の授受は、補給地点側の車線(S/F 地点へ向かう方向の車線)を走行中のみとする。昨年は反対側の車線(折り返し地点へ向かう方向の車線)からボトルや物を投げて、危険な場面もあったので厳禁とする。

レースの結果はホームページでも公開しています。 <http://jjcf.info/>





# 第 60 回 全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会

2022 年 6 月 4 日(土) 埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷南側

主催：日本学生自転車競技連盟 共催：(公財)日本自転車競技連盟 (一社)埼玉県自転車競技連盟  
協賛：(公社)全国競輪施行者協議会 (一社)日本競輪選手会 井上ゴム工業株式会社  
株式会社パールイズミ WIN AND WIN CO.,LTD(WIAWIS) 株式会社クレマー・ジャパン  
セイコータイムクリエーション株式会社  
後援：国土交通省利根川上流河川事務所 加須市 加須市教育委員会 羽生市 羽生市教育委員会



Communiqué.02-2

## 4. 指定 P I T 設置場所について

- 本大会のコース内にチーム PIT (飲食料・器材サポートエリア) の他に指定 P I T を 2 か所設ける。各指定 PIT には各チーム 2 名までが待機できる。競技開始前までに指定 P I T までの移動を完了すること。ともにプログラムの指定 PIT 設置場所の地図を参照のこと。

**指定 PIT① 羽生スカイ公園そば (141 km地点)**

**指定 PIT② 折り返し地点 (150 km地点)**

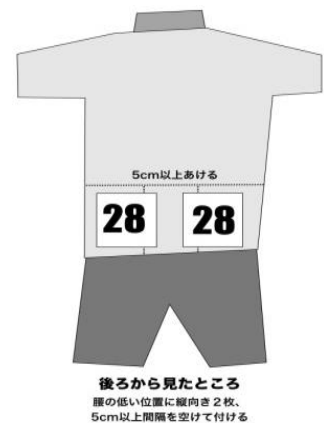
- 各 P I T に学連より前後の代輪を用意するが、交換は選手自身が自ら行うこと。また、各校にて用意した代車・代輪は、チーム PIT (飲食料・器材サポートエリア) の他にこの 2 か所の P I T 内においてのみ、交換を認める。その他の地点におけるチームからの代車・代輪の交換は認められない。
- 各指定 PIT への移動は、自転車もしくは徒歩で行うこと。また、競技時間中のコース上の移動は一切禁ずる。トイレへの移動の際はコース外に出て、堤防上のサイクリング道路などを利用すること。また、チーム車両による移動は認めない (本コース内へのチーム車両の進入は、競技中、競技時間以外にかかわらず一切認めない)。
- 各指定 PIT でのゴミは、各校で必ず責任をもって持ち帰ること。

## 5. 無線通信装置の使用

- チームロードタイムトライアルは、競技者間・競技者と監督間の無線通信を、アマチュア無線機を除く日本国内で適法な無線機に限り、競技運営および安全性を損なわない範囲で認める。

## 6. ゼッケン・フレームプレートの取付け

- 本大会では、ゼッケン 2 枚 + フレームプレートの着用を義務づける。  
ゼッケンの付け方は右図のようにつけること。なお、ゼッケンの間隔は 5 cm 以上空けること。
- ゼッケン及びフレームプレートの返却は必要ない。
- フレームプレートは、フレーム前部中央につけることを原則とする。  
中央に取り付けられず、左右どちらかに寄ってしまう場合は、右側につけること。フレーム前部に取り付けることが不可能な場合、シートピラーに取り付けることを認めるが、脚部で隠れないよう十分突き出した位置にしっかり固定すること。



## 5. バイクチェック・サインシート

- 選手は、自転車・ヘルメットを持参してそれぞれの**出走 15 分前までに**バイク・インスペクションを受けること。但し、選手はマスクを着用し、決められた間隔をあけて順番を待つこと。
- 自転車器材については基本的に選手本人が取り扱うものとし、審判は自転車器材等には触らないことを基本とする。
- 出走サインは行わないので、**出走 1 時間前までに**出走メンバーのリスト「チームロード出走選手届」をセクレタリまで提出すること。届出用紙は事前に連盟 H P からダウンロードして入手すること。
- 正当な理由なく前項の規定を履行できない選手は、参加することは出来ない。

レースの結果はホームページでも公開しています。 <http://jjcf.info/>



# 第 60 回 全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会



2022年6月4日(土) 埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷南側  
主催：日本学生自転車競技連盟 共催：(公財)日本自転車競技連盟 (一社)埼玉県自転車競技連盟  
協賛：(公社)全国競輪施行者協議会 (一社)日本競輪選手会 井上ゴム工業株式会社  
株式会社パールイズミ WIN AND WIN CO.,LTD(WIAWIS) 株式会社クレマー・ジャパン  
セイコータイムクリエーション株式会社  
後援：国土交通省利根川上流河川事務所 加須市 加須市教育委員会 羽生市 羽生市教育委員会



Communiqué.02-3

## 6. 映像ユニット等の取付けについて

- 映像ユニット等を自転車に付加して走行することは原則許可しますが、JCF競技規則第16条 3.(2) d) ⑤ 規定を順守することを前提とします。また、映像の所有権について、本大会 レース中に撮られたものは、原則、日本学生自転車競技連盟に帰属するものとします。

レースの結果はホームページでも公開しています。 <http://jjcf.info/>

